

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公

公表:令和 7 年 8 月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 稲田堤教室

保護者等数(児童数)17 回収数17 割合 90 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17					見学の機会を考えています。 随時見学は可能です。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	15			2	専門的なことはわからない。	保護者会で説明予定です。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	2				面談時などにお部屋の中を見てもらい、説明をしていきます。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	17					
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	17				色々なプログラムがあり楽しみにしている。	今後も楽しく参加して頂けるように努力していきます。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	9		4		今後出来るように検討していきます。
保護者 への説明 等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	2			利用開始前や面談時にお聞きしています。 わかりやすく説明してくれています。	今後もわかりやすく、しっかりと説明していきます。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	3			ひごろより連絡をさせて頂ける環境にして頂いている為安心です。	今後もメールやLINEなどを活用しながらより理解を深めていきます。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	2			面談時等でお話を親身に聞いて頂けたいです。	今後も変わらず対応させて頂きます。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14	3			前回参加して良かったので定期的に開催してほしい。 保護者会があるのかわからない。	今年度もかいいいを予定していて準備中です。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15			2		何か疑問などわからないこと等はいつでも聞いてください。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	1				
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	1			どの様に発信しているのかわからない。	再度お知らせを配り周知していきます。 月1回こぼん通信とインスタで発信しています。
非常時 等の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	17					今後も気を付けていきます。
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17				特に聞いたことがない。	保護者会や面談時に再度お知らせしていきます。
満足 度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17					定期的に行っています。 実施したときにはご家庭に周知していきます。
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	17				カレンダーを確認して楽しみにしています。	今後も楽しく参加して頂けるように努力していきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	17					

275 23 0 8 90%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7 年 8 月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 稲田堤教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9			
	2 職員の配置数は適切である	9			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9			
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	2		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9			
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	2		
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	9			
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9			
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9			
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	2		
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9			
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	9			
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9			
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9			
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				今は対応児童がいません。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	2		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		9		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	9			
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	4		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9			今後もミーティングなどでふかめていきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	4		今後力を入れていく予定のため準備しています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	4		職員全員がわかるように説明をする時間を検討中
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	4		特定の職員のみが対応しているが、今後は他の職員も対応できるようにしていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	4		今後開催予定で準備中
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9			
	35	個人情報に十分注意している	9			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9			
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		9		現状難しく参加できていないが、今後については検討中
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9		年間計画に沿って研修をしています。	外部研修も取り入れていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9			ミーティングや朝の会などで周知している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				現在対応児童がいません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9			ミーティングや朝の会などで周知している。